

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 15030010

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B		
単位施策	3	消防・救急体制の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	予防対策資器材整備事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度～平成27年度		担当課	15 消防支署		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	予防資器材整備数			#N/A		
事業目標	1資器材		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加 住民協働	有 学校及び事業所避難訓練、町防災訓練時の町民参加		関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	予防対策資器材整備		消火器更新			
	事業費(千円)	656	0	656	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	656		656			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	457	0	457	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	457		457			
	特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) 消防保有消火器更新 ・施設用～12本 ・車両用～17本 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果
	前期計画からの継続	年度目標値				
		年度達成率	#DIV/0!	70%	#DIV/0!	#DIV/0!
	第6期計画への継続	全体達成率	0%	70%	70%	70%
		事業進捗状況	☆☆☆☆☆			

事業名	予防対策資器材整備事業	評価者 管理職 職氏名	支署長	安本 明志美
		評価者 作成者 職氏名	予防係長	高宮 幸広

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	老化による破裂事故の防止	
【抱える課題やニーズは】	使用時の老化による破裂事故	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	老化した消火器を使用した際の破裂事故を未然に防ぐ。	① 消火器更新	目標年度	平成26年度
			目標値	1 資機材
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	出動現場での使用者及び周囲の者の安全を守る。	②	実績値	1 資機材
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	消火器選定	車両用消火器は、その車両ごとに取付け金具の位置が決められているため、同メーカーの消火器選定を行う。	目標年度	平成26年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	消火器の技術上の規格及び消火器の点検規格の改正に従い、消火器の適切な保守管理をする必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	消防車両及び各施設への適切な消火器配置ができた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	災害現場での破裂事故を防ぎ、隊員及び関係者の安全を守ることができる。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	予防資器材整備事業の消火器更新は、出動隊員及び関係者(町民)の安全を守るための事業であることから公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
使用時の老化による破裂事故を未然に防ぐことが出来たことは、目標が達成されたと考え評価できる。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
この事業は、町民の防火意識の向上を図るために、今後啓蒙資器材や訓練資器材(町民が使える)を整備していく必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止